

# 観察野鳥一覧

項番	種名		4/21	5/19	6/16	7/21	8/18	9/15	10/20	11/10
1	アオゲラ	留鳥	○				○			
2	アオサギ						○			
3	アオジ				○					
4	アオバト				○					
5	アカゲラ	留鳥	○	○			○		○	
6	アトリ	冬鳥	○							
7	イカル		○	○					○	
8	ウグイス		○	○	○					
9	エナガ		○		○				○	
10	カケス		○							
11	カシラダカ	冬鳥	○							
12	カルガモ		○		○					
13	カワラヒワ		○	○			○			
14	キセキレイ						○			
15	キビタキ	夏鳥		○	○		○			
16	キジバト				○					
17	コガラ			○	○				○	
18	コゲラ	留鳥	○		○		○		○	
19	コルリ	夏鳥		○						
20	サンショウクイ	夏鳥	○	○	○					
21	シジュウカラ		○	○	○				○	
22	センダイムシクイ	夏鳥	○	○	○					
23	ツツドリ	夏鳥			○					
24	ツバメ		○							
25	トビ		○				○			
26	ノジコ	夏鳥		○	○					
27	ハシブトガラス		○	○					○	
28	ハシボソガラス				○		○			
29	ヒガラ		○		○				○	
30	ヒヨドリ			○			○		○	
31	ホオジロ		○	○	○					
32	ホトギス	夏鳥			○					
33	マヒワ	冬鳥	○							
34	メジロ				○					
35	モズ								○	
36	ヤマガラ		○							
			21	14	19	0	10	0	10	0

計36種 観察

記録:小林1号2号

半年の間、お世話になりました。

まだ新米のためあまりお役にたてなかったと反省しています。

一般的に、最近鳥の数が減ったとベテランの人たちが言っていますが、

「市民の森」でも、以前と比べると鳥の数が少なくなったと聞いていたのですが、

アトリ、カシラダカ、マヒワなどの冬鳥（日本より北の地域から越冬のために南下する鳥）  
や

キビタキ、コルリ、サンショウクイ、センダイムシクイ、ツツドリ、ノジコ、ホトギスなどの夏  
鳥（日本より南の地域から繁殖のために夏にやってくる鳥）が  
見られました。

このほかにキツツキの仲間などの留鳥（一年中暮らしている鳥）なども見られる、バードウ  
ォッチングを十分楽しめる場所だと思いました。

殊にコルリやノジコなどはわざわざこれらを見るために訪れる人たちもいる鳥たちだと思  
います。

ただ鳥の写真を撮っている人たちがあまり多くなるといろいろ弊害も出るので注意が必  
要かもしれません。

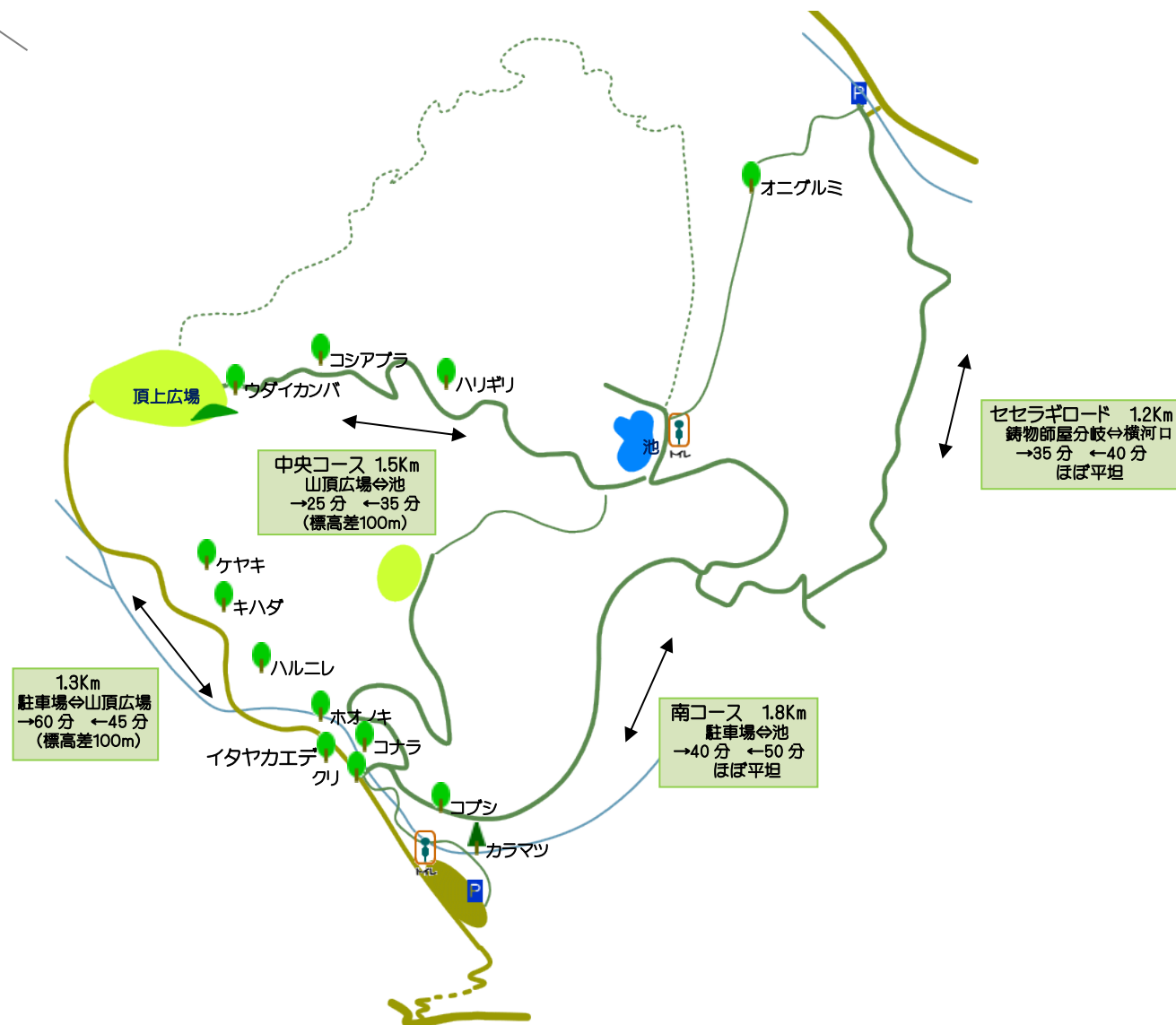
参加して感じたことは、もっと経験のある人が参加したらあと数種（5～6種類）は見つけ  
られたのではないかと思います。

## 市民の森の大木探し

巻き付けて測れば直径が分かるメジャーを持って、樹種毎の大木を捜し、胸高直径(地表から 1.3m の所の直径)を測りました。

- ①グリ 79.3cm(南コース分岐)
- ②ウダイカンバ 78.3cm(頂上)
- ③ホオノキ 70.08cm
- ④カラマツ 69.0cm(沢沿いの小径)
- ⑤コナラ 60.6cm
- ⑥ケヤキ 59.8cm
- ⑦キハダ 49.9cm
- ⑧イタヤカエデ 45.5cm
- ⑨オニグルミ 44.9cm(横河口上)
- ⑩コブシ 41.4cm
- ⑪ハルニレ 40.2cm
- ⑫コシアブラ 35.0cm
- ⑬ハリギリ 33.1cm

今年測ったのはごく一部、今後も、大木探しは続けます。  
これはと思う樹を見つけたら、測ってみましょう。





**5月** アマガエルと葛の吸盤。界が異なるのに同じような吸盤がある不思議。

「今日のなんでかな？」の一年  
月例観察会時に市民の森で見つ  
けた「なんでかな〜？」と不思議  
に思った自然のいろいろ。  
小さな命に隠された不思議な秘  
密に感動の一年でした。



**4月** 松ぼっくりの螺旋

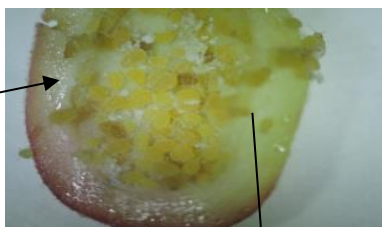


アンモナイト

**6月** ツノゼミ 幼虫→成虫



**10月** カナムグラとアオツヅラフジ  
自然界に潜む螺旋の不思議。



ヌルデシロアブラムシ



**7月** ヘクソカズラの名はその  
臭気に由来するそうだが（花は甘  
く良い香り）、ヘクソカズラヒゲナ  
ガアブラムシはその臭い成分を身  
体に取り込み身を守るそうだ。  
驚きの小さな虫の知恵。

**9月** ヌルデの虫こぶ（ヌルデノミミ  
フシ）はタンニンを含み染料や医薬品  
に利用されてきた。ヌルデは虫こぶを  
作ることで、被害が全体に及ぶことを  
防ぎ、アブラムシは安全な場と食料を  
確保。

秋、有翅虫になり寄主転換する。



まとめ会のおすすめ写真は、「けいちゃん成長」です。

月例観察会は、植物、昆虫、動物、野鳥、魚と観察対象が多岐にわたり、何年たっても新たに知ることが多く、実り多い時間でした。

今年は、特に、けいちゃんの成長ぶりを「観察」できたのが大きな収穫でした。カメラを手にして、ガイドブックを見て、けいちゃんの頭の中にはどのような情報がインプットされたのかしら。

この先、けいちゃんがどんな風に成長し、進化していくのか、できたらズーっと「観察」したいです。



---

## 🍌 一年間のまとめ

黒田キミ

4月からの1年間(実際は8ヶ月間かな?)ほんとに楽しい観察会でした。スタッフ陣の適切な指導と、放任(放任するしかなかった?)で、私にとって は、学び有り、遊びあり、コミュニケーション有り、で、最高でした。

特に、虫が大の苦手で、目にするのもいやだったのが、生き物のつながりを広く見られるようになり、毛嫌いすることが無くなりました。これは、これまでの人生での大収穫です。

ただただ、花が好きで、植物について知りたい、と言う単純な動機で参加していたのが、**なんだか、広く、生き物の世界を 俯瞰する視点を持てるようになったように感じます。**(実際、畑で虫に出会っても、まずは見る。以前は、すぐにつぶしたり、殺したりしていたの に。)ちょっと大げさですが、ほんとのことですよ。

来年も元気で参加できるように、足腰を鍛えておきましょう。皆さん、またよろしくお祈いします。